

水トラストニュース

2011.11 No.25



もくじ

「御嵩町<小和沢>の自然～15年間の観察記録」より	……1
柳生竹左右門の竹林日記	……3
小枝通信 & 製紙原料として間伐材を出荷	……4
ハチとバカにご用心！	……5
2010年度 収支決算報告	……6
シンポジウム 長良川河口堰開門と生物多様性 「よみがえれ長良川！ よみがえれ伊勢湾！」案内	……7

御嵩町 < 小和沢 > の自然 15年間の観察記録 (1996/9月 ~ 2011/8月) より

籠橋 まゆみ

かつて、東洋一の産廃処分場予定地の舞台となり、今も丸山ダムで日本一のかさ上げ工事が計画されている小和沢地区。

「自然が大きく失われようとする時、私たちにできること、やるべきことは何だろう…」その答えは、自然の実態を知ることと、記録に残すことだと思います。

とはいえ、15年前の私たちにとっては全く人材不足で別分野の世界でした。

その時、手を差し伸べて下さったのが犬山市で新郷瀬川の鳥と植物の調査をしておられた「ふるさとの自然を愛するスズサイコの会」の皆さんです。

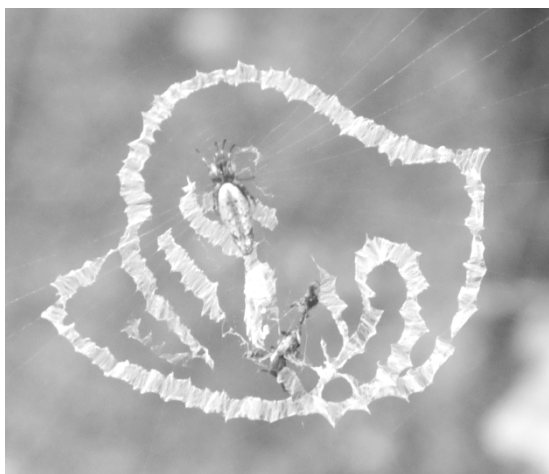
野鳥調査は第1回から180回までのほとんどを各務久子さんが中心となり、記録は2004年1月までを高田さん、その後を荒川さんが担当してくださいました。この1月の観察会では3名の方が凍てついた下り坂で転倒される事故が起き、中でも高田さんは2度もの手術をうけられましたが、再び小和沢の観察会に復帰されることはありませんでした。今も1番の心痛む思い出です。と同時に平地部と全く違う小和沢の冬の厳しさを思い知ったのでした。

毎回の鳥合わせの記録に添えられた高田さんのコメントは、若き日、開高健氏と同人誌をやっておられたという名文です。今回懐かしく読み返してみると、みんなで雨宮神社にお参りしたこと。レントゲン車が来ていたこと。地元の方とカスミ網の話で盛り上がったこと。等々、忘れていた光景がよみがえってきました。脱輪した新聞社の車を地元の方と一緒に出してあげて、感激されたこともありました。住民投票の日、筑紫哲也キャスターが小和沢を訪れた時、電線でのサンコウチョウが声高らかに 月日星ホイホイ とさえずっていたこと 今も語り継がれるエピソードです。

また、荒川さんからは、克明な野鳥記録の取り方を教えていただきました。植物研究家、野草料理の達人、茶道の師匠、鳥の羽根博士 etc....スズサイコの会の皆さんはどの方もとても個性的なスペシャリストの集まりです。

毎月、おいしい手弁当つきで、時には野点で風流を楽しみ、すてきな観察会に参加しながら、皆さんから学んだたくさんのこと。中でもバードウォッチングの楽しさに気付けたことは私にとって最高の宝物です。

最初の数年、内心では「バードウォッチングってなにが楽しいのだろう」と思ってお供していました。ある日、双眼鏡で見る世界は、人間の視力を超えた鳥



や動物の目で見える世界なのだと気付きました。それからは、双眼鏡が片時も手放せないりっぱな“鳥キチ”のお仲間になれたと思います。今は、こんな世界を知らないで一生を終わらなくてよかった！と心から思っています。

また、鳥や花の名前を知るだけでなく、自然のつながりを観察する目もこの観察会で養われました。自然を人間の価値観で見ないことは、私のモットーになりました。

自然観察の究極の終着点は、“嫌いなものも排除しないバランスのとれた社会”なのでは...と思っています。

晴れた日も風の日も、雨の日も、毎回同じ時間、同じコースをてくてくと歩き、記録に留めた 15 年間、180 回のデータからは、小和沢という場所が、私たちの思いも寄らぬ多くの生き物の命を育てていることがわかり、深い感動といとおしさを覚えずにはいられません。

それと同時に、何度、回を重ねても計り知れない小和沢の自然があることも、このデータが教えてくれています。

今回、2011 年 8 月で丸 15 年を迎えるにあたり、定例観察会としては一つの区切りを付けることとなりました。

不定期とはなりますが、これからも新しい出会いや発見が続いていくことでしょうし、また新たなデータが積み重ねられることと思います。

「知らなければ守るべきものもわからない」

このデータを知った上で、自然からのメッセージをどう受け止めていくのか、選択していくのが私たち人間の役目なのかも知れません。

この記念誌の編集にあたり、今までに参加された皆さんからは、たくさんのお手紙をお寄せいただき、ありがとうございました。また、野鳥観察の全データを提供して下さった荒川欽松さん、植物リストをチェックして下さった大宮克美さんに心からお礼申し上げます。



柳生竹左右門の竹林日記

柳生竹佐右門

当初、予想した通り竹伐りは、始めたら、やめられない、止まらない、で黙々切り続けるはめになっている。止めようとしても、急には止められないってなもんで、意地汚くあと1本、あと1本と切っている。

4月には、太い竹を切り倒す際、返り打ちにあい、顔面殴打で流血の憂き目に会い、世間様に顔面の傷をさらすという珍しい体験をした。皆様、竹を切る際にはゆめゆめ油断めされるな。

7月には、カグヤ隊(竹伐り女子を勝手に命名)の伏屋さんとリーちゃんが蜂の襲撃に会い、多大なる打撃を受けたのであります。皆様、蜂にも油断めされるな。黒っぽい服装は禁断らしいですぞ。なるべくラテン系の装いで、いらっしゃーい。

そんなこんなにもめげず、9月時点では、師匠・森山氏に教えてもらった巨大プールが3つも構築され、広がった空間には陽の光が降り注ぎ、明るさを増している。

9月は、帰国の為、これで最後とリーちゃんが作業をしてくれた。ありがとうね、リーちゃん、又来てね。

竹を利用しようというなら秋から冬に切った竹が最適である。竹は山ほどあるので、みな、勝手に竹を利用してくれい。



小枝ちゃんへ

2012年2月26日(日)は御嵩町の環境フェアです。場所は中公民館の3階で、水トラストのブースがもらえる予定です。是非、参加してください。他のメンバーの人達も、予定に入れておいてね。間伐材で遊ぶアイデアを待っています。準備がいつも泥縄で、今回はちょっと余裕でやりたいんですけども、どうなるかなあ。

檜三郎より

小枝通信

小枝です。久しぶりです。隣のイチヨウ君が黄色くなって、かなり強烈なおいを発しています。これがおでんや茶碗蒸しのいい味を出してくれるので、想像してすごしています。

御嵩の環境フェアですが、今年の名古屋環境デーで木の板に電熱で字や絵を描くブースが3つくらいありました。それが結構楽しくて、私も2つ作りました。自分の名前を入れたストラップは気に入っています。これは候補です。

それから竹細工のおばさんのブースも行きました。竹を裂いて、編んで、風車や、かごをつくってました。とても丁寧に作ってあって使えるものでした。作るなら使えるものにしたいので、11月に講習に行ってくるつもりです。もうひとつマイ箸のお話も聞いてきました。ヒノキ間伐材でやっているもので、丸太を30cmに切る、干す、3cmの厚さに切る、箸の太さに切る、かんなで削る、やすりで磨くという手順で製品になるまでかなりの手間でした。でもやるなら押さえる道具、かんななど貸してくれるということでした。丸太からやるのはかなりの手間であること、1本あれば1年ぐらい楽しめるほど箸が作れること、うまくやれば楽しく箸の講座もがてることはいいことなのかもしれません。でもそのときは誰か手伝ってほしいな…環境フェアまでにどれかイベントにいれたいです。企画はこんなところでいいでしょうか、ヒノキに
いさん？

それまでに、間伐した枝を薄く輪切りにしたものがが必要です。さくら小枝も材料集めに山へ行くつもりです。そのとき会うこと楽しみにしています。



製紙原料として間伐材を出荷

6月に大王製紙へ間伐材を出荷しました。重量13.6トン。写真をご覧ください、そうとうなボリュームです。

大王製紙への出荷はこれが三回目、総計で約30トンになります。それだけの木を切り、林の中の小道まで運び(これが一番大変)、軽トラに載せ、軽トラで運び、写真の場所で軽トラから降ろす、というのはかなりの大仕事です。森林ボランティアに参加して力仕事に汗を流して下さったおおぜいの方々に感謝します。



ハチとバカにご用心！

開原 宏樹(イラストも、です)

人生初の蜂刺されは不運でも事故でも何でもなく
自業自得・因果応報という言葉が相応しい。

時刻は午後4時。
作業に疲れたので切り株に腰を掛けた。
ペットボトルの水を飲みながら、すっかり休息モードに入っていた。

ふと、視界に入った地面を見る・・・。
大量に蜂が同じ箇所に群がっている。

「気持ち悪い。」

休憩はどうでもいいから、この気持ちを何とかしたい。



その場を離れるのが吉なのは明白。
少なくとも蜂の塊(巣)に水をかける行為は論外である。

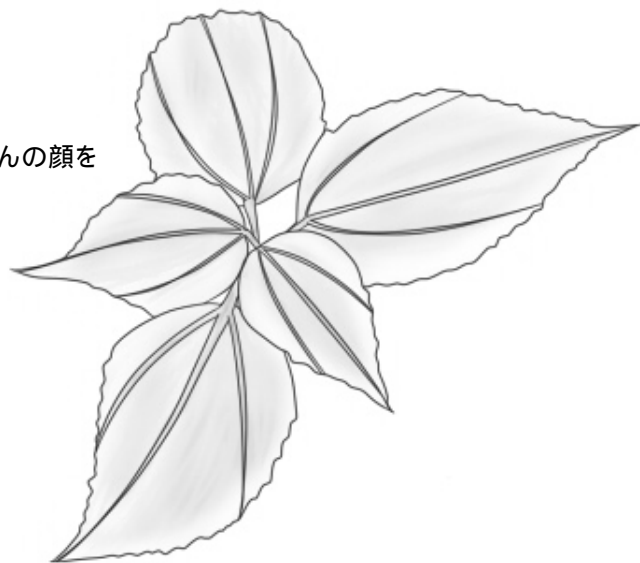
ジョボボボー！！
蜂が驚いて慌てふためく姿に快感を感じた。
それと同時に左手から痛みが走った。

それが私の初の蜂刺され。ああホント馬鹿(笑)
でも、そんな自分が自分なんだと不思議な気持ちになりながら
病院へ向かった。

お医者さん「どんな蜂だった？」
開原「黄色い蜂です。」
お医者さん「え？蜂はみんな黄色いよ。」

呆れられた顔で、少々イラッとした感じのお医者さんの顔を
今でも忘れない。

・・・もう、蜂の巣に水をかけるのはやめよう。



2010年度 収支決算報告

2010年4月1日から2011年3月31日まで

単位:円

科 目	予 算 額	決 算 額	差 異	備 考
(資金収支の部)				
経常収入の部				
1 会費収入	140,000	124,000	40,000	
1)正会員会費収入	40,000	40,000	0	正会員年会費 2000円×20名
2)支持会員会費収入	124,000	84,000	40,000	支持会員年会費 2000円×42名
2 事業収入	0	75,960	75,960	環境大学講師料、大王製紙
3 補助金等収入	0	0	0	
1)民間補助金収入	0	0	0	
4 寄付金収入	214,000	214,000	0	
1)寄付金収入	214,000	214,000	0	個人有志より
5 借入金収入	0	0	0	
1)借入金収入	0	0	0	
6 雑収入	5,000	27,968	22,968	
1)受取利息	0	168	168	預金利息
2)雑収入	5,000	27,800	22,800	御嵩伐採木売り上げ
経常収入合計	359,000	441,928	58,928	
経常支出の部				
1 事業費	450,000	202,502	247,498	
1)水源林の保護育成事業	150,000	109,923	40,077	水源の森みたけ間伐作業
2)水源地域環境保全のための政策提言事業	150,000	40,889	109,111	御嵩町有林管理
3)環境保全啓発事業	150,000	51,690	98,310	水トラストニュース印刷製本発送
2 管理費	180,000	152,200	27,800	
1)役員報酬	0	0	0	
2)給料手当	0	0	0	
3)臨時雇賃金	0	0	0	
4)福利厚生費	0	0	0	
5)会議費	12,000	12,000	0	理事会1回 総会1回役員会12回
6)旅費交通費	0	0	0	
7)通信運搬費	10,000	10,200	200	電話料ほか
8)消耗什器備品費	0	0	0	
9)消耗品費	8,000	0	8,000	
10)印刷製本費	10,000	10,000	0	資料代
11)光熱水料費	0	0	0	
12)賃借料	120,000	120,000	0	事務所賃借料
13)保険料	0	0	0	
14)諸謝金	0	0	0	
15)租税公課	0	0	0	土地保有税等
16)雑費	20,000	0	20,000	
3 予備費	20,000	0	20,000	
1)予備費	20,000	0	20,000	
経常支出合計	650,000	354,702	295,298	
経常支出差額	291,000	87,226	354,226	
その他資金支出の部				
1 固定資産取得支出	0	0	0	
1)水源の森土地取得費	0	0	0	
2 借入金返済支出	0	0	0	
1)借入金返済支出	0	0	0	
その他資金支出の合計	0	0	0	
当期収支差額	291,000	87,226	378,226	
前期繰越収支差額	562,759	562,759	0	
次期繰越収支差額	271,759	649,985	378,226	
(正味財産増減の部)				
正味財産増加の部				
1 資産増加額		87,226		
1)当期収支差額		87,226		
2)水源の森土地取得費		0		
2 負債減少額		0		
1)借入金返済額		0		
当期正味財産増加額		87,226		
前期繰越正味財産在高		5,062,759		
当期正味財産合計		5,149,985		

シンポジウムー長良川河口堰開門と生物多様性ー

「よみがえれ長良川！ よみがえれ伊勢湾！」

12月10日(土)PM1:30~5:30

伏見ライフプラザ 鯉城ホール

地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」下車6番出口南へ徒歩5分

入場無料(資料代として500円のカンパをお願いします)

#挨拶 大村秀章 愛知県知事(予定) 河村たかし 名古屋市長(予定)
近藤昭一 前環境副大臣 今本博健 長良川河口堰検証専門委員会共同座長

#連帯挨拶 有明海漁民・市民ネットワーク 陣内隆之

#トーク&ハーモニカ「長良川と私」 野田知佑(カヌーイスト、作家)

#基調報告 「3.11を経験した今、長良川河口堰開門・生物多様性を考える」
大沼淳一(実行委員会代表、生命流域ネットワーク)

#シンポジウム「長良川河口堰開門と生物多様性」

コーディネータ 亀井浩次(藤前干潟を守る会)

パネラー 大橋亮一(長良川漁師)

蔵治光一郎(東京大学生態水文学研究所長)

高山進(国連生物多様性の10年市民ネットワーク共同代表)

向井貴彦(岐阜大学准教授・魚類学)

主催「よみがえれ長良川！よみがえれ伊勢湾！」実行委員会

〒450-0001 名古屋市中村区那古野 1-44-17 島田ビル

国連生物多様性の10年市民ネットワーク、

(連絡先)090-1284-1298 長良川市民学習会 武藤



表紙の絵は早川さん作、文中のイラストは岩間さん作

発行

特定非営利活動法人 みたけ・500万人の木曾川水トラスト

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬2-28-14 名古屋働く人の家気付

TEL&FAX 052-682-4737

郵便振替00800-9-64810

URL <http://homepage3.nifty.com/mitake/>

e-mail mitake500npo@yahoo.co.jp